

想いを形に。ご寄付・ご賛助にご理解とご協力をお願いします。

何に使われたか分からない寄付では意味がありません。

私たちは、障がいのある方がアートを通じた活動で自信を持って社会参加ができるように普及に努め、企業・社会と繋ぐ活動を行って参ります。

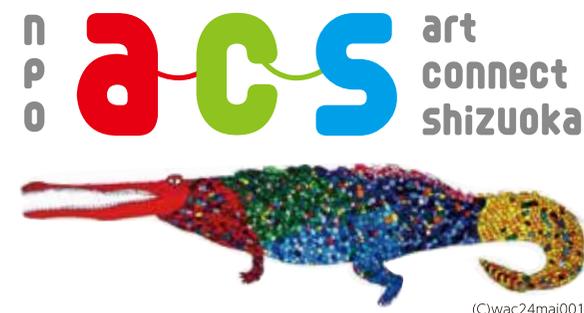
そして、これからの未来を担う子どもたちが笑顔になる活動を進めていきます。

皆様のご理解とご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

寄付等のご相談がございましたらお気軽にお問い合わせください。(担当：遠藤)

あなたにもできる 社会貢献の形 ACS 賛助会員	個人：入会金 0円 / 年会費 一口 3,000円
	法人：入会金 0円 / 年会費 一口 30,000円
	上記以外の寄付についてはご相談ください
●振込先 / 静岡信用金庫 追手町支店 (店番号：001) ●口座番号 / 1172813 ●口座種別 / 普通 ●名義 / トクヒ) アートコネクトしずおか ※お振込み手数料はご負担をお願いいたします。	

ご寄付・ご賛助にご協力頂いた個人・企業様はアートコネクトしずおかのチラシやホームページ等にご賛助の掲載・ご紹介させていただくことがあります(お名前公開のご了承を頂いている方のみ)。



(C)wac24mai001

art connect shizuoka 特定非営利活動法人
アートコネクトしずおか

【西草深事務所】〒420-0866 静岡市葵区西草深町 14-18 藤江邸内

【伝馬町ノアギャラリー】〒420-0858 静岡市葵区伝馬町 8-10 藤江学園ビル B1F

TEL: **054-204-0320** (遠藤)

URL: <http://artconnect-s.com/>
E-mail: info@artconnect-s.com



ノアギャラリー運営企画管理

<http://noah-design.net/noahgallery/>



特定非営利活動法人 アートコネクトしずおか

すべては誰かの喜びのために。

当法人は
2017年5月、静岡市に発足した
アートやデザインの専門性を有する
NPO法人です。

活動は主に
障がいのある方々や
病とたたかう子どもたちを
アートを通じて応援し、
社会や企業と繋げる活動をしています。



1. 障がいのある方々のために。

- アート展示・イベント企画
- アートレンタル
- アート販売プロデュース
- 看板・壁面・ヒーリングアート企画設置
- 授産製品デザイン・販売促進
- 講座・アートワークショップ企画開催
- 障害者施設・事業所～企業仲介
コーディネート



2. 子供たちのために。

- 病や障がいとたたかう子どもたちへ
芸術を届けるプロジェクト
- 病院内・障害者施設出張～
大道芸・ミニコンサート・演劇・お絵描き企画
- 家族(祖父母等)との絆を育む
アートワークショップ

障がいのある方々のために。

アートを通じて社会参加を支援する活動

私たちは彼らの持つ個性や感性、そしてその独創的でユニークな発想と素晴らしい表現力にただただ惚れ込んでいます。

そこでは障害の有る無しは関係ありません。つまり我々は純粋に彼らの持つ芸術性に驚き感動し、ファンになってしまった一人なのです。

しかし障がいがあるが故に、彼らの活躍の場や発表の場は時に限られたものとなってしまっていることがありと知り、その現実には悔しさと心惜しさを感じてきました。

私たちはこの素晴らしいアートを一人でも多くの方に見て欲しい、そしてもっともっと社会に羽ばたいていくべきだと信じて活動を続けています。それが彼らの生きる喜びや幸福に繋がっていくことを願って。



- ① 特別支援学校卒業生アートコミュニティ waC (ワック) のメンバー (藤枝)
- ② 日頃の活動の功績が認められ令和3年度静岡県文化奨励賞を受賞 (写真は授賞式)
- ③ 建設会社と清水特別支援学校のアートコラボレーション工事看板
- ④ 静岡県立城北高等学校工事壁アート採用
- ⑤ 静岡済生会総合病院内壁面ヒーリングアート施工
- ⑥ 文化奨励賞の賞状
- ⑦ 静岡済生会病院内ヒーリングアート施工
- ⑧ 洋菓子店のパッケージにアートを採用



活動の功績が認められ、アートコネクつずおかは令和3年度 静岡県文化奨励賞を受賞しました。



障がいのある方々を取り巻く環境を知り 何ができるのかを一緒に考える。

学生 × デザイナー × 就労継続支援B型事業所
授産品販売促進支援プロジェクト(静岡市障害福祉企画課協働事業)

障がいのある方々が日々どんな生活を送り、どんな仕事をして暮らしているのかを知る人は多くないと思います。アートコネクトしずおかは専門家はもちろん、未来を担う学生や若者にも彼らの実際の生活環境や就労現場を知ってほしいと考えています。現状を知り、理解と意識が芽生えれば、今までにない新しい風が吹き始めると信じています。



①プロのデザイナーと学生がチームに分かれ就労継続支援B型事業所へ赴き授産品を検証。販売促進に繋がるデザインアイデアを提案 ②木材を扱う事業所を視察 ③印刷・衣類雑貨を扱う事業所を視察 ④食品を扱う事業所を視察 ⑤事業所の担当者を前にプレゼンする学生 ⑥⑦視察内容をもとにデザインアイデアを検討するデザイナーと学生の各チーム ⑧学生の描いたアイデアスケッチ(一部)

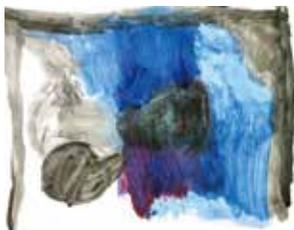


子どもたちのために。

病とたたかう子どもたちのための アートワークショップ

静岡県立こども病院、国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター、
静岡済生会療育センター令和、浜松医科大学医学部附属病院にて開催

小さく幼くも日々の治療に耐え、病気や不安とたたかい、頑張っている子どもたち。
そしてたたかう子どもたちを日々傍らで支え、優しく寄り添い続ける母親や家族たち。
日々命と向き合う彼らに、笑顔の時間を提供できないだろうか。そのために今私たちが出来ることは何だろうか？そんな問いから始まったアートプロジェクト。
毎回子どもたちの楽しそうな笑顔に心から安堵しますが、この活動に終わりはありません。我々にとってこの事業を継続していくことこそが最大の目標だと考えています。
私たちはこれからも病院施設の方々、諸関係機関及び企業の方々と協力し、彼らに寄り添い笑顔になれる価値ある時間を、共につくっていきたいと思います。



①参加した子どもたちによって描かれた作品（一部）②病院内アートワークショップ終了後に開催した子どもたちが描いたアート展示（ノアギャラリー）告知広告 ③④⑤⑥静岡県立こども病院でのアートワークショップの様子。春風亭昇太さんが会場にサプライズ登場。会場が笑いに包まれる ⑦⑧国立病院機構静岡てんかん・神経医療センターでのワークショップの様子 ⑨浜松医科大学医学部附属病院たんぼぼ学級でのアート授業の様子 ●いずれの事業も静岡トヨタ自動車（株）ハイブリッド基金、静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金、ふじのくに未来財団助成事業によって実行



子どもたちと共に楽しむ企画。

専門家 + 学生と共に創りあげるワークショップを展開



静岡済生会療育センター令和（旧静岡医療福祉センター児童部）での演劇ワークショップ。SPAC女優を講師に、大学生と高校生も参加。知的障害や肢体不自由、その他視覚障害等を持つ子どもたちが対象なため、この時は作品制作のワークショップではなく、皆で楽しめる演劇・読み聞かせ・音で感じるワークショップを展開。

子どもも保護者も支援者もみんな待っている！ 「出張！病や障がいとたたかう子どもたちへ 芸術を届けるプロジェクト」

県内には多くの障がいや病を抱える子どもたちを受け入れる支援施設や病院があります。しかしコロナ禍により子どもたちの楽しみにしていたイベントの多くが中止になり、面会も外出も制限され、寂しさと不安、退屈を抱えている子どもたちや保護者がたくさんいます。遊びたい盛り。好奇心旺盛な子どもたちの日常を思うにつれ、大人でも不安に押しつぶされそうな毎日。子どもも大人（保護者の方）も楽しめる小さな芸術イベントで、不安で退屈な日常の中に少しでも楽しい時間を提供できないか。そんな思いから活動は始まりました。



大道芸・ミニコンサート・
演劇・お絵描きワークショップ
毎回プロジェクトは大成功！
子どもたちに笑顔が溢れます。



派遣するのはプロの芸術家。子どもたちとプロの芸術家たちの交流が新たな希望を育みます。



障がいのある方々の未来を繋ぐ。



東京を拠点に活躍するイラストレーター、小池アミゴ氏を招いてwaCとのコラボレーションアートワークショップを開催。アパレル関連のモデルを描き、障害の有る無しに関係なく交流。楽しい時間を過ごしました。

ひとりでも多くの仲間と 彼らのアートファンを増やしたい。

彼らの持つ素晴らしい個性を羽ばたかせ、一人でも多くファンを増やしていけば、きっと彼らの世界も広がっていくと信じています。

私たちは様々な方との出会いや繋がりを大切にして、その世界と可能性を上げる努力を続けて参ります。

子どもと大人。アートで心を繋ぐ。

プロのイラストレーターと子どもたち、そして祖父母（家族）とのアートコミュニケーション企画。「大好きなおじいちゃんおばあちゃんにありがとうの気持ちを込めてアートを贈ろう」講座を敬老の日開催。毎回大盛況で皆笑顔の1日となります。おじいちゃんおばあちゃんも大喜び間違いなし。



ありがとうの気持ちを作品に込めて。



